

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2021-1030	利用 形態	共同研究	利用する 試料・情報	対象:三世代コホート調査に参加する母児 約23,000組 試料:なし 情報:基本情報、続柄情報、調査票情報、カルテ情報	
主たる研究機関	東北メディカル・メガバンク機構			分担 研究機関	King's College London(英)	
研究題目	妊娠糖尿病と産後のメンタルヘルスとの関連に関する国際共同研究			研究期間	2022年3月～2023年3月	
実施責任者	小原 拓	所属	東北メディカル・メガバンク機構		職位	准教授
研究目的と意義	<p>妊娠糖尿病は一般的な産科合併症の一つで、世界では5-20%の有病率であると言われています。妊娠糖尿病はお母さんの将来の糖尿病やお子さんの低血糖等のリスクがあり、長期的なケアが必要な疾患です。また、産後うつも日本では頻度が高い産科合併症です。一般的に、糖尿病とうつは相互に関連があると言われていますが、妊娠糖尿病と産後うつとの関連については十分な検討が進んでおりません。そこで、本研究では、妊娠糖尿病と産後うつとの関連を検討します。また、産前からのお母さんのメンタルヘルスが母児の愛着(ボンディング)に重要であることが言われており、本研究では妊娠糖尿病や産後うつとボンディングとの関連についても検討します。</p>					
研究計画概要	<p>本研究では、東北メディカル・メガバンク計画三世代コホート調査に参加している方を対象に行います。具体的には、母親・児として登録されている方の、基本情報(年齢・性別)、調査票情報、カルテ情報等の項目を用いて、お母さんの妊娠糖尿病とお母さんの産後のうつとの関連を検討します。同様に、お母さんの妊娠糖尿病とボンディングとの関連を検討します。</p>					
期待される成果	妊娠糖尿病と産後うつ及び妊娠糖尿病とボンディングの関連への研究の進展が期待されます。					
これまでの倫理 審査等の経過	2022年3月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認					
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	<p>研究は、人を対象とする生命科学・医学系研究の倫理指針を遵守するほか、ToMMoが定めるセキュリティポリシーに従い、ToMMoスパコン上にて解析が実施されます。 ToMMoから共同研究機関に提供される解析結果は、個人特定性を有しない対象集団全体の集計・解析結果のみです。</p>					
その他特記事項	東北メディカル・メガバンク事業					

※公開日 令和4年3月8日